

入学式

令和6年4月5日に入学式が行われ、緊張した面持ちで、26人の新入生が出席し、看護師の道への新たな一歩を踏み出しました。

杉山学校長が、式辞で「今日がスタートラインである一方、ゴールは国家試験に合格することではなく、患者から信頼してもらえる看護師になること。やりがいがある仕事である反面、重い責任も伴う。そのことを忘れずに3年間学んでほしい」と述べました。また、素晴らしい看護師、社会人になるため、自分で考えるくせをつける、コミュニケーション能力を高める、日々の学習を習慣づけるなどのポイントを挙げ、「様々な人とふれあいながら多くの経験を積み重ねてください」と呼び掛けました。



また、在校生を代表して3年生の西村安未さんが、「人との出会いを大切に、人の意見を素直に受け入れるようにしてください。支えてくれる家族や周囲の方々に感謝し、看護師になりたいというまっすぐな思いを忘れず、ともに支えあい夢を実現させましょう」と歓迎の言葉を伝えました。

これに対し、新入生代表の東唯衣さんが、「看護学生としての自覚と責任を持ち、3年後には観察力や思いやりを持った信頼させる看護師になるため、日々努力します」と力強く宣誓しました。

**新入生を迎え、教員一同ワクワクしながら、
学生とともに今年度も頑張っていきます。**

